2020東京五輪・パラリンピック熱中症対策プロジェクト

リーダー　長尾光雄（機械工学科　教授）

目的

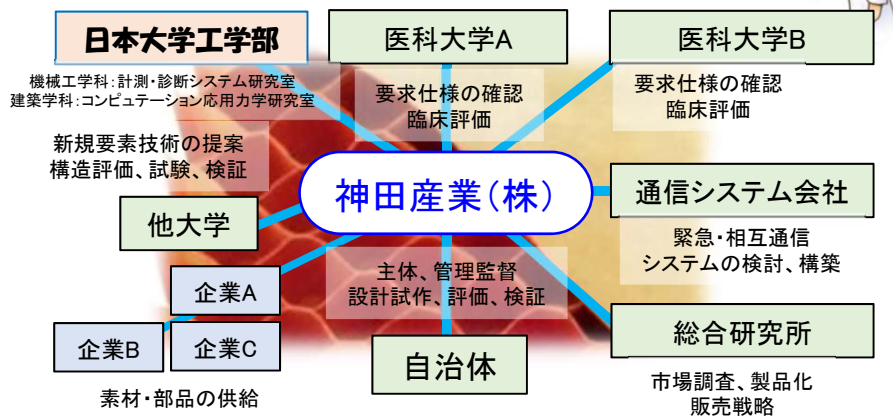
2020年東京五輪の開催期間（7月24日～8月9日）の『暑さの危険予知と対策』は重要な課題である。その中でも屋内外を問わずに発生する『熱中症』は参加関係者の誰もがその可能性がある。環境省の熱中症対策ガイドラインなどを踏まえて、静音冷気空間と専門スタッフが常駐する『パネル組立型熱中症対策救護所』を提供し、大会に貢献する。

背景

2020年東京五輪夏の開催、『暑さの危険との闘い』でもある。夏の東京は高温多湿、ゲリラ豪雨、雷雨、及び台風等の『異常気象現象との闘い』でもある。中でも、体力的に弱者な方々の場合には、屋内外を問わず、『熱中症のリスク』が高い。

発症者の近くに『外界から遮断された静で熱中症専用の仮設救護所』は命綱となる。このような機能を備えたパネル組立型建屋が必要とされている。本大会の対策検討委員会も『本格的な暑さ対策』に着手している。このような機能を持つ建屋は、相当数の数量になるため、搬入搬出や組立解体が容易、低コスト、リサイクルが可能であり環境にもやさしい製品が求められている。

推進体制



予定

第1期・2017：既存仕様構造の改良試作、試験、市場調査、PR
- 連携推進体制個々の課題解決を進める
- 神田産業（株）企業主体の国内外の展示会出展PR
  他大学との共同研究

第2期・2018：試作品の仕様構造改善、評価試験、製品市場評価
第3期・2019：新試作品の完成、製品化、販路開拓、PR
第4期・2020：採択採用、製品量産、販売、設置、撤去
第5期・2021：他の用途拡大仕様変更試作、緊急治療室（ER）等

予定とマイルストーン

第1期
- 仕様構造の改良設計試作
- 試作試験、市場調査
- 神田産業（株）連携の課題解決
- 神田産業（株）国内外の展示会出展
- 神田産業（株）対策検討委員会とコンタクト

第2期
- 試作品の仕様構造改善
- 評価試験、製品市場評価、PR
- 神田産業（株）連携の課題解決
- 神田産業（株）国内外の展示会出展
- 神田産業（株）対策検討委員会とコンタクト

第3期～第4期～第5期
- 新試作品の完成、製品化、販路開拓、PR
- 製品量産、販売、設置、撤去
- 他の用途拡大仕様変更試作、緊急治療室等
- 神田産業（株）連携の課題解決
- 神田産業（株）国内外の展示会出展